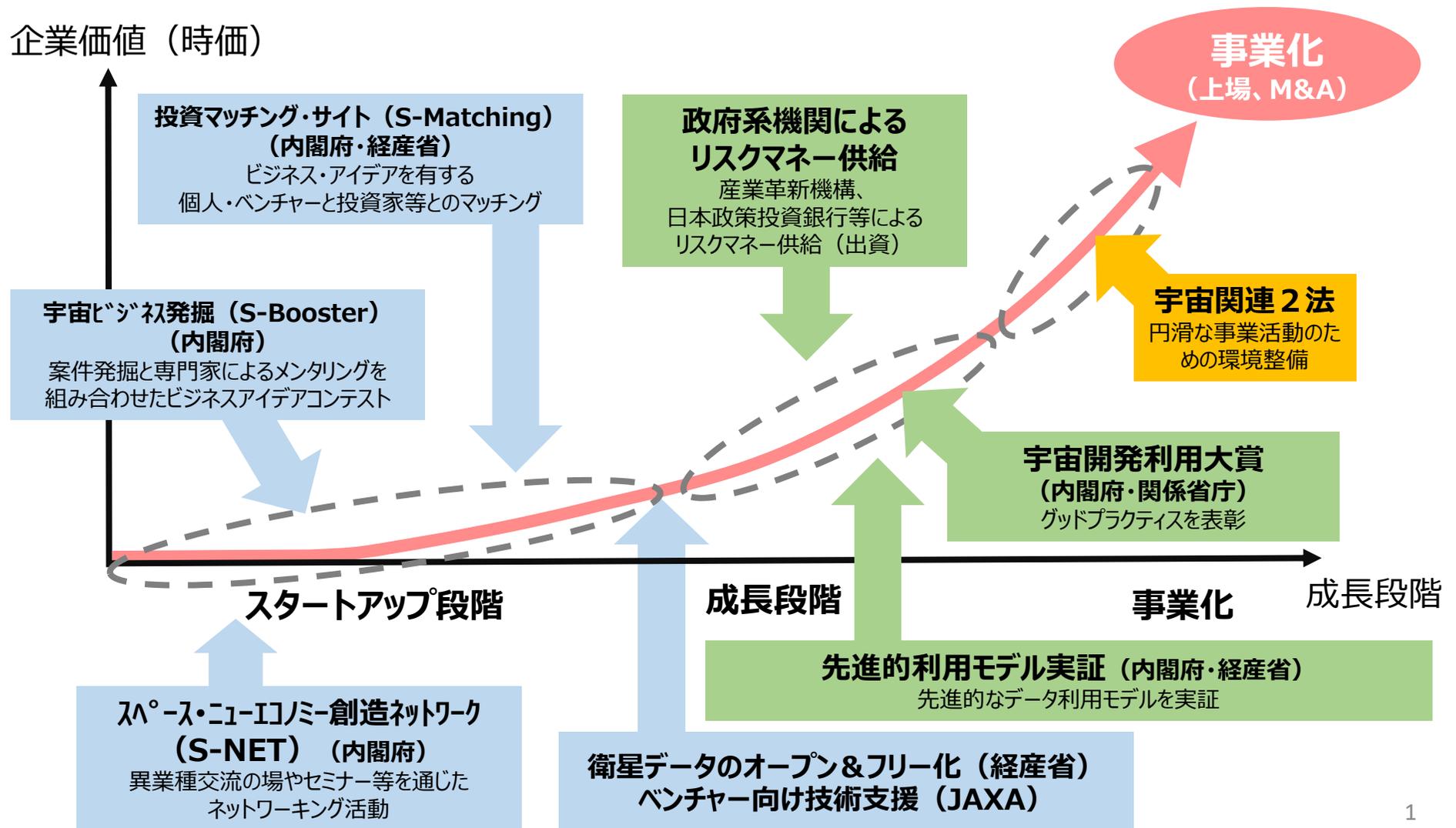


# 宇宙利用の拡大に向けた取組について

平成30年10月19日  
宇宙開発戦略推進事務局

# 現在の宇宙ベンチャーの政府支援策の全体像

- ・国内外で宇宙ベンチャーの参入が活発化しており、宇宙産業ビジョン2030を契機として、宇宙ベンチャー支援のための新たな施策を推進。
- ・一方で、世界的な競争も激化しており取組を一層加速していく必要。



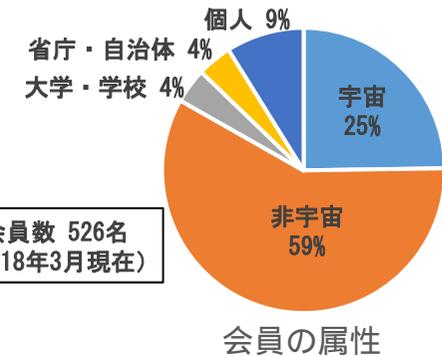
# スペース・ニューエコノミー創造ネットワーク (S-NET)

- 平成 28 年 3 月、「宇宙」をキーワードに新産業・サービス創出に関心を持つ企業・個人・団体等が参加できるネットワーク組織として「スペース・ニューエコノミー創造ネットワーク (S-NET )」を創設

「場」の提供により、宇宙分野への新規参入促進や、企業間等におけるビジネス創出のためのネットワーク形成(横のつながり)の支援など、裾野拡大を目指す

- 本年度より新たな取組として、「S-NET 強化に向けた 5 本柱」を推進

- ①相談窓口の強化、②「宇宙ビジネス創出推進自治体」の育成・支援、③衛星データ利用等に関する出前講座、④主要都市での宇宙関連イベントの毎年実施⑤情報発信の強化



## 1. 相談窓口の強化

東京に加え、大阪、福岡、仙台にも「S-NET 相談窓口」を増設

JSS が運営する「宇宙ビジネスコート」の「宇宙ビジネス・コーディネーター」により、ビジネス面・技術面でのアドバイス等を実施

仙台：毎月第1水曜日 13～17時（場所：東北経済産業局）  
(11/7、12/5、1/9、2/6、3/6)

大阪：毎月第2水曜日 13～17時（場所：近畿経済産業局）  
(10/15、11/14、12/12、1/16、2/13、3/13)

福岡：毎月第4木曜日 13～17時（場所：九州経済産業局）  
(10/27、11/27、12/20、1/24、2/28、3/20)

# スペース・ニューエコノミー創造ネットワーク (S-NET)

## 2. 「宇宙ビジネス創出推進自治体」の選定・連携

- 衛星データ等を活用した宇宙ビジネスの創出を主体的・積極的に推進する「宇宙ビジネス創出推進自治体」を公募し、以下の自治体を選定。
- 各自治体におけるS-NET活動を国としてもサポート。

### 北海道

本年4月に産学官からなる「北海道衛星データ利用ビジネス創出協議会」を設立

### 茨城県

JAXA等の国研の集積を活かし、宇宙ベンチャー創出に向けた環境を整備

### 山口県

県、山口大学、JAXAがH28年に締結した協定をベースに産学官の活動を推進

### 福井県

「県民衛星プロジェクト」と称し、衛星の製造・衛星データ利用に取り組む

## 3. 衛星データ利用等に関する出前講座

## 4. 主要都市での宇宙関連イベントの毎年実施

- 大阪（10/15）、福島（11/9）、仙台（11/13）、福岡（11/27）にてセミナーを開催
- 衛星画像データ利用ハンズオン講座やアイデアソンも併せて実施。



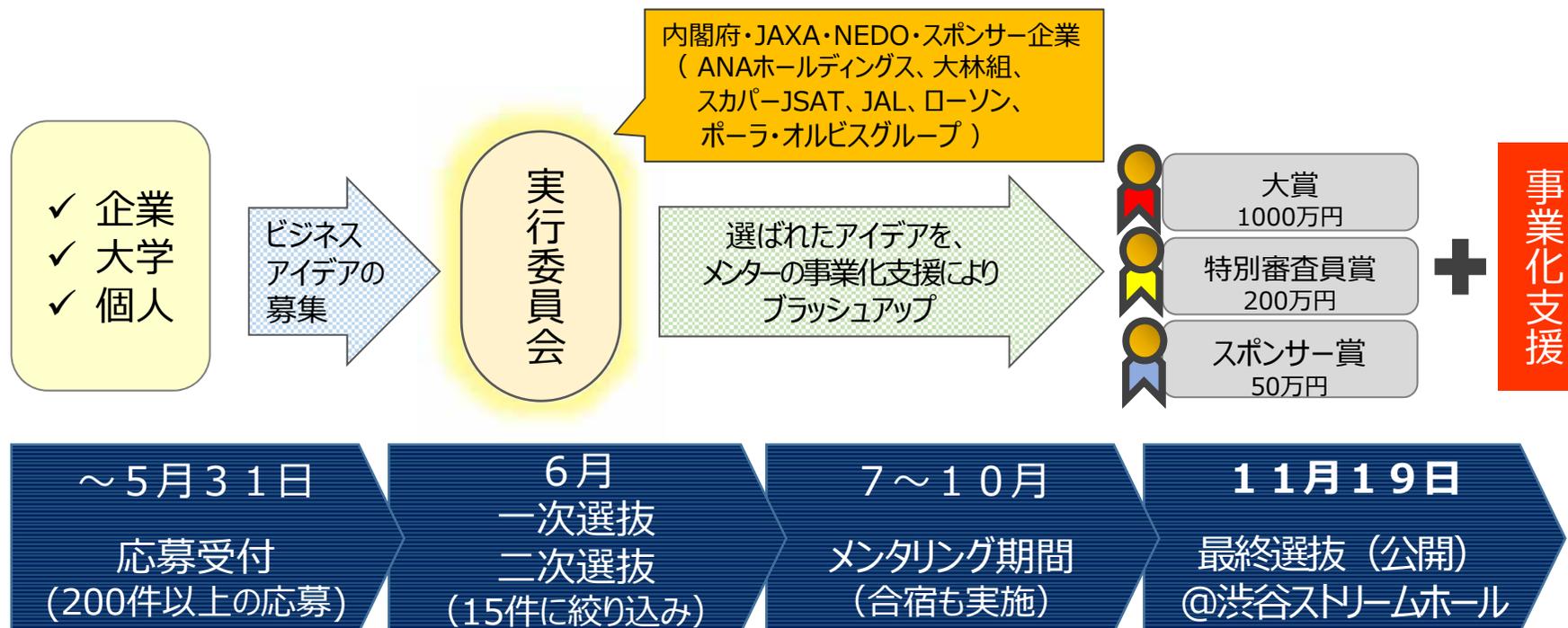
## 5. 情報発信の強化

- S-NETの活動に加え、宇宙関連の施策やトピックスについても一元的に発信するポータルサイトを整備・充実  
<http://www.uchuriyo.space/>



# ビジネスアイデアコンテスト（S-Booster 2018）の概要

- 「S-Booster2018」とは**宇宙を利用した新たなビジネスアイデアコンテスト**。昨年度に続き2回目。
- ベンチャー企業のみならず、学生や個人、異業種からアイデアを幅広く募集。（昨年300件超）  
選抜アイデアは、**メンターによるブラッシュアップを通じた事業化支援**を行う。
- 最終選抜会では、各ファイナリストは**投資家等に向けてアイデアを発表**。  
その後の資金調達に結び付けることが狙い。



# 最終選抜会の概要

- 開催日程：平成30年11月19日（月）
- 開催会場：渋谷STREAMホール
- 参加者： 宇宙関連企業、ベンチャー企業、VC等の投資家、メディア関係者など



渋谷STREAMホール  
(S-Booster2018 最終選抜会会場)

**※S-Booster 2017は100名以上が参加、ニコニコ動画で1万3,000名以上が視聴して1,000件以上のコメント。**



(出典: livedoor NEWS掲載記事)

最終選抜会の様子  
(S-Booster 2017)

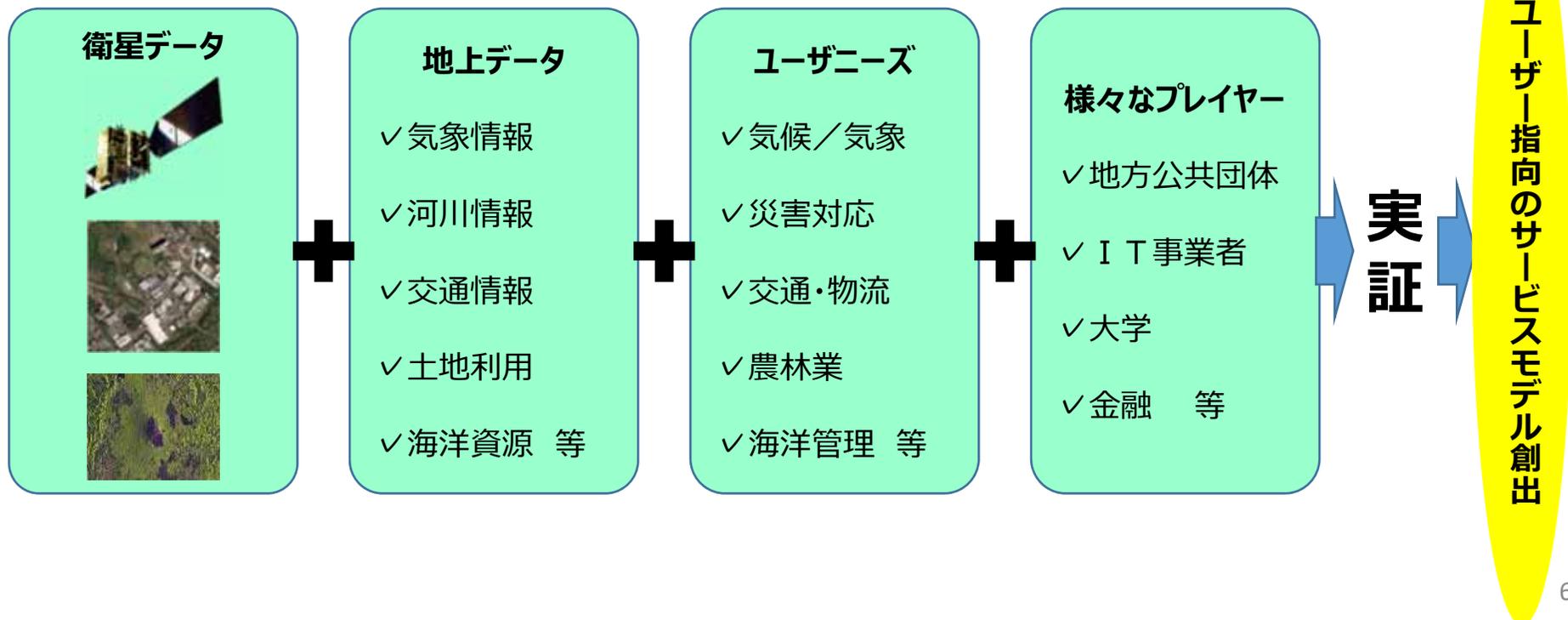


フォトセッション  
(S-Booster 2017)

# 先進的な宇宙利用モデル実証事業

- ◆ 衛星データの利用拡大に向け、衛星リモセン及び測位データを利用したモデルの効果を実証し、衛星データ利用の先進的なモデルを創出。
- ◆ 今年度は1件あたり1,000万円程度、7件のプロジェクトを採択。

- ・ 衛星データだけでなく、様々なデータの一つとして衛星データの活用を検討。
- ・ 地方公共団体等の現場ニーズを有する者と一体となることで、ユーザーニーズに基づくモデルを創出。
- ・ IT事業者等も巻き込み、様々な分野のイノベーションを融合。



# 2018年度 実証チーム一覧

| 実施プロジェクト名                          | 実証チーム（代表企業：下線）   | 実証分野                  |
|------------------------------------|--|-----------------------|
| アジア太平洋海洋衛星データサービスプラットフォーム構築事業      | ①一般社団法人 宇宙利用新領域開拓機構 Space Edge Lab.<br>②一般財団法人 宇宙システム開発利用推進機構<br>③株式会社アクセルスペース、④株式会社Synspective<br>⑤東京大学、⑥インドネシア海洋観測研究所（IMRO）                        | 不審船管理                 |
| 衛星データによる漁業操業ナレッジベース構築と支援サービス事業     | ①株式会社エイム<br>②山口県漁業協同組合、③日本電気株式会社<br>④一般財団法人 リモート・センシング技術センター<br>⑤山口県水産研究センター<br>⑥地方独立行政法人 山口県産業技術センター<br>⑦一般財団法人 宇宙システム開発利用推進機構、⑧アマタ株式会社             | 農林水産業                 |
| みちびき災害危機情報とエッジUTM型ドローンの協調動作による災害対応 | ①テラドローン株式会社<br>②インクrement・ピー株式会社、③N T T 空間情報株式会社<br>④株式会社アクセルスペース  | 防災                    |
| 衛星データ時系列変化と登記情報を融合した不動産データビジネス     | ①株式会社トーラス<br>②東京大学、③N T T 空間情報株式会社   | 金融、不動産                |
| 衛星を利用した定置網漁業向け情報サービスの実証            | ①日東製網株式会社<br>②株式会社ツガイナカ中村漁場、③北海道大学<br>④株式会社グリーン&ライフ・イノベーション<br>⑤一般財団法人 リモート・センシング技術センター、⑥有限会社アイティ企画  | 農林水産業                 |
| 宇宙ビッグデータを活用したタンザニア農業金融サービス支援実証     | ①PwCサステナビリティ合同会社、<br>②国際航業株式会社<br>③Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit (GIZ)<br>④GmbH Competitive African Rice Initiative (CARI) | 金融、保険                 |
| 衛星を利用した積雪深分布把握に基づく道路除排雪システムの検討     | ①国立研究開発法人 防災科学技術研究所<br>②早稲田大学、③ESRI ジャパン、④新潟県  | 防災、インフラ維持管理、<br>交通、物流 |

# 衛星データ統合活用実証事業の実施状況

- 経済産業省では、衛星データや地上データを統合活用することによるアプリケーション創出を促進する観点から、今年度、「衛星データ統合活用実証事業」を実施。
- 公募の結果、5件の提案を採択（7月5日付けで公表）。金融、農林水産、インフラ、自動走行など様々な産業分野の提案があり、サービス事業者とユーザが一体となって、今年度実証事業を実施しているところ。

## <採択案件事業（5件）>

| 実証分野 | 実証プロジェクト名                      | 実証概要   | 実証チーム  | 衛星データ   |
|------|--------------------------------|--|--|---------|
| 金融   | 衛星による船舶等の貨物量推定をもとにした経済指標提供サービス | 船舶向け衛星AIS（自動船舶識別装置）と衛星データの統合活用により、船舶の種類や積載量等の推定を行い、リアルタイムに経済動向を判断する手法を確立するための実証。将来的に投資家や企業向けに提供するサービスの実現を目指す。                        | ①アジア航測<br>②アクセルスペース<br>③アイ・トランスポート・ラボ<br>④グローバル・パートナーズ・テクノロジー<br>⑤同志社大学  | リモセン    |
| 農林水産 | 衛星・地上データによるバイオマス資源の地産地消で儲かる林業  | 昨年度衛星データと地上データを組み合わせた竹林伐採事業に資する情報収集・利活用に関する実証を実施。本成果を活用し、将来の事業化を見据え、森林事業者への森林コンサルティングを実施するための新しいビジネスモデルを実証する。                        | ①宇部興産コンサルタント<br>②宇部市<br>③美祢市<br>④三輝トラスト株式会社<br>⑤カルスト森林組合<br>⑥ニュージャパンレッジ⑦常盤商会<br>⑧山口大学<br>⑨山口県農林総合技術センター<br>⑩山口県産業技術センター                      | リモセン    |
| インフラ | 電力インフラの遠隔監視・調査への衛星データ適用実証事業    | 衛星データやドローン、ビッグデータ（過去の設備点検記録等）により送電設備の遠隔監視アプリを構築することで、電力インフラの保守業務等のコスト削減・省力化を図る。  | ①関西電力<br>②パスコ  | リモセン    |
| 自動走行 | 豪州における準天頂衛星システムを活用した自動運転実証     | 準天頂衛星システム「みちびき」や高精度測位補正技術「MADOCA」、高精度3D地図などをAll-Japan体制にて活用し、アジア・オセアニア地域にて自動運転車を走行させ、統合管制システムでデータ収集・解析を実施することで、将来的な当該地域でのビジネス展開を目指す。 | ①豊田通商<br>②マゼランシステムズジャパン<br>③グローバル測位サービス<br>④日本総合研究所<br>⑤三菱電機<br>⑥慶應義塾大学<br>⑦ダイナミックマップ基盤<br>⑧TT Logistics<br>⑨TOYOTA TSUSHO NEXTY ELECTRONICS | 測位      |
| 農林水産 | 自然放牧による畜産農業への衛星データ利用実証事業       | 測位衛星による肉牛の行動分析とリモセンによる牧草の生育状況分析から得られる情報を基に、畜産農家へのサービスを見据え、肉牛の質の向上や牧草の適切な管理に資するシステムの構築を実証する。将来的にはO&FPF上でのアプリケーションを実装し、国内外に展開していく方針。   | ①M・S・K株式会社<br>②伊藤畜産  | 測位、リモセン |

# (参考) 衛星データ統合活用実証事業の概要

平成30年度予算額 1.5億円 (新規)

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- これまでも衛星データを活用したアプリケーションが開発されてきましたが、衛星データ単体では多面的な情報としては十分であるとは言い難く、開発したものがビジネスとして実用化されることは限定的でした。
- 昨今、IT技術やAIの急速な発展により、多岐な分野に亘るビッグデータを統合して解析することで、新たなビジネスが出現しつつあります。衛星データについても、その質・量ともに向上を続けており、ビッグデータ解析の重要な柱のひとつとしての活用が期待されます。
- そのため、新たなアプリケーションビジネスを創出すべく、衛星データと地上データを統合し、ビッグデータのひとつとして活用するアプリケーションの開発・実証を行います。また、アプリケーションの活用先としてユーザー官庁や自治体等との連携も図ることで、実用化も推進します。

### 成果目標

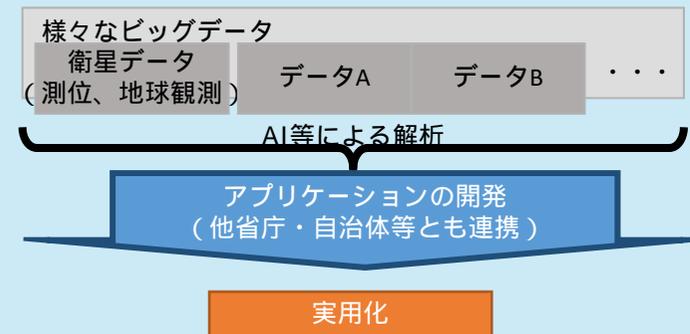
- 平成30年から平成32年までの3年間の事業であり、最終的には12件のアプリケーションの開発を目指します。

### 条件 (対象者、対象行為、補助率等)

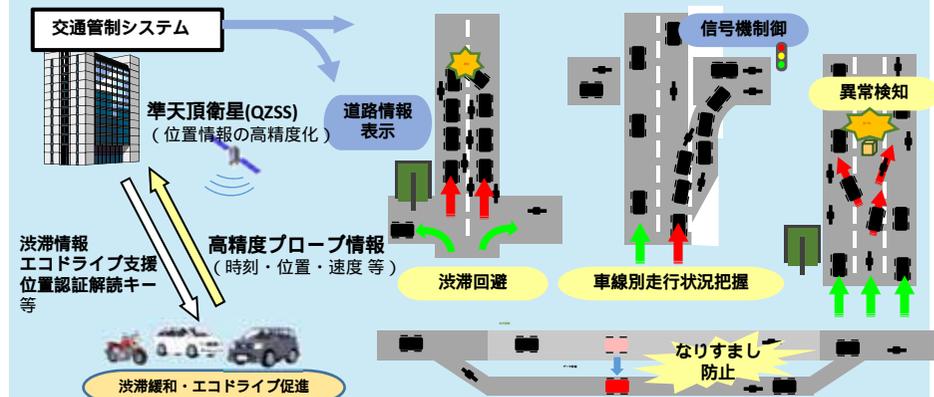


## 事業イメージ

### (1) 事業の概念図

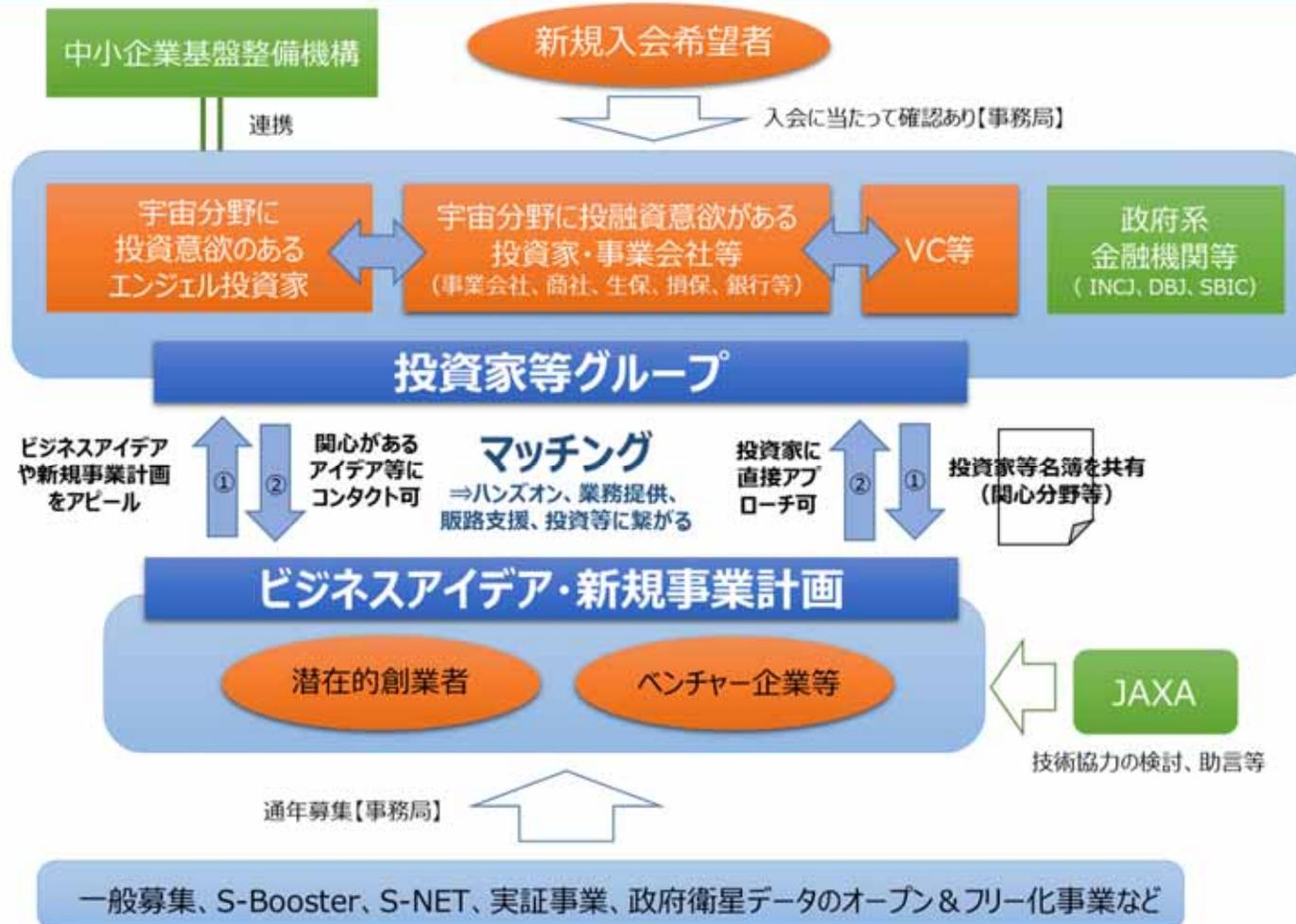


### (2) 準天頂衛星システムのアプリケーション事例 (高精度プローブ情報を活用した渋滞緩和システム)



# 宇宙ビジネス投資マッチング・プラットフォーム（S-Matching）の概要

- 経済産業省及び内閣府は、宇宙関連ベンチャー企業等の創出・育成等のためにリスクマネー供給を円滑化する観点から、新たなビジネス・アイデア等を有する個人・ベンチャー企業等と、投資家・事業会社とのWEBマッチングを円滑化するための枠組みを創設。



# S-Matching立ち上げ後の登録件数の推移と傾向について

- 本年6月にビジネス・アイデア募集の専用サイトの本格運用を開始し、現在37件のアイデアが投稿され、起業家と投資家の間でマッチングに向けた活動が行われているところ。
- 起業家と投資家の登録件数はそれぞれ横ばいで推移。なお、投資家は、衛星データの利活用やアプリケーション開発に関する分野に対して関心が高い傾向にある。

## 現在の登録状況（10月17日現在）

- **企業家登録数 225社**
- **投資家登録数 55社**  
 (ベンチャーキャピタル)  
 グロービス・キャピタル・パートナーズ、インキュベイトファンド、グローバルブレイン など
- (事業会社)  
 NTTデータ、ソフトバンク、三井物産、オスカープロモーション など
- (個人投資家)
- (政府系金融機関等)  
 産業革新機構、日本政策投資銀行、東京中小企業投資育成

## ＜投資家に関心のある分野＞

| 分野                                 | 社数 |
|------------------------------------|----|
| リモートセンシングや測位等衛星データの利活用、アプリケーション開発等 | 49 |
| 人工衛星、打上げロケット、地上端末等の機器開発            | 35 |
| 軌道上サービスの開発・運用                      | 35 |
| その他                                | 13 |

## ＜投資家が実際に投融資したいと考えている分野＞ (単位：社数)

| 衛星データの利活用 | 機器開発 |         |      |        |     | 軌道上サービス (宇宙空間利用) |     |        |       |     | 宇宙関連サービス |           |       |        |     | その他 |
|-----------|------|---------|------|--------|-----|------------------|-----|--------|-------|-----|----------|-----------|-------|--------|-----|-----|
|           | 人工衛星 | 打上げロケット | 地上端末 | ソフトウェア | その他 | 宇宙旅行             | 宇宙葬 | 宇宙資源探査 | デブリ除去 | その他 | 教育       | エンターテイメント | コンテンツ | ビジネス支援 | その他 |     |
| 39        | 34   | 29      | 32   | 32     | 18  | 30               | 23  | 33     | 30    | 22  | 28       | 29        | 29    | 29     | 18  | 8   |



(<https://s-matching.jp/>)

(出典) 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 集計

(注) S-Matching登録時に投資家が申込フォーム上で選択した分野・区分の累計値。(平成30年10月17日現在)